



学校だより

尾張旭市立西中学校

令和2年度7月 31 日

「夜明け前が一番暗い」

早いもので、学校が再開してからもうすぐ2か月が過ぎようとしています。しかし、夕方のテレビニュースでは、新型コロナ感染者数の増加について報じられる毎日が続いており、感染の広がりが懸念されています。7月28日の朝、校内放送で以下のような呼びかけを行いました。

『すでにニュース等で知っている人も多いと思いますが、市内でも新型コロナ感染症の感染者がでたことが確認されました。全国的な感染の波が尾張旭にも迫っています。自分たちの近くで感染した人が出ると、「不安や恐れ」から間違った情報や噂、想像から「偏見や差別」が起きることがあります。もし差別的な言動、デマを見聞きしても、確かな情報に基づき自分で正しく判断し、決して同調しないでください。正しい判断ができなくなってしまう「心にかかる感染症」を広めない約束をしてください。そして、普段の生活を今一度見直してください。自分の大切なまわりの人たちに感染させないためです。もうどこで、誰が感染してもおかしくない状況になってきています。そんな中、心も身体も、感染しない、感染させないレベルを上げた行動を、しっかりとお願いします。』

夏休みを目前に、こんな話をしなければならないことはとても残念ですが、コロナ感染症に関して今一度対策すべき時期が来ています。これからの生活習慣や夏休みの過ごし方について、ご家庭での話し合いをお願いします。

イギリスの諺（ことわざ）に「**The darkest hour is just before the dawn.**」というものがあります。日本語では、「**夜明け前が一番暗い**」と訳されることが多いようです。夜の真っ暗な闇は、明るい太陽の光で終わりを告げ、夜は明けるものです。しかし、太陽の光が差し込む瞬間まで、あたりは暗いままで。

人が困難に直面した時、そこから抜け出そうともがいても、状況が良くなならないむしろ悪くなっていくことがあります。そして、悪い状況が長く続けば続くほど、人はあきらめてしまいがちです。しかし、光はすぐそばまで届いていることも多いです。そうやって考えると、ちょうど今我々は、夜明け前の暗闇の中にいるのかもしれませんが、また、「明けない夜はない」とも言われています。いつか必ず夜明けは来るものなのです。

いつもの年より短くなった夏休みを迎えます。こまめな手洗いやマスクの着用、3密を避け、感染しない、感染させない行動を心がけながら、やがて来る夜明けを待ちたいものです。

校長 前野浩司

